

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和48年度	根拠法令・例規等	備前市災害見舞金等支給要綱
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	社会福祉課
	小項目	施策	20	障がいのある人への福祉の充実	課長補佐 春森 弘晃
事務事業名		02	災害見舞金給付事業		このシート作成に要した時間 1.5 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	災害被災市民	
目的 (何のために)	被害を受けた者の援護と奮起を促すことを目的とする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	被害を受けた者が、少しでも早く被災前の生活に戻れるようにしたい。	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
災害見舞金給付事業	水・火災等の被害者に見舞金を、又死亡者には弔慰金を給付する。(上限10万円)	◎
地方債管理事業	過去の災害において罹災した人に貸し付けた、貸付金の管理をする。	○
目的を達成するため実施した事業		

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	549	321	444
	必要人員	人	0.04人	0.03人	0.04人
	事業費計		955	559	790
	国県支出金	千円			
	受益者負担				
繰入金					
市債					
その他()					
一般財源		955	559	790	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
災害見舞金支給件数		説明	災害見舞金、弔慰金及び障害見舞金を支給した件数		
結果指標	結果指標量	件	1	1	2
	対前年比	%	-	100.0%	200.0%
	活動コスト	円	955	559	790
	単位当たりコスト		955	559	395

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
災害見舞金支給件数	目標値 (A)	0	0	0	0	
	実績値 (B)	1	1	2	到達目標値	
	達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0	
成果指標設定の考え方・式や説明						
<ul style="list-style-type: none"> 災害見舞金、弔慰金及び障害見舞金を支給した件数 災害の規模や発生件数を見込むのは不適当であるので、目標値は0とする 						

事務事業の評価		Check
該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	B
	必要性	
効率性の評価	コスト	B
	手段	
有効性の評価	目的達成度	B
	市民参画度	

進行年度 (H26年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		昨年同様に事業を実施する。(※改正災害救助法等の施行により、災害救助法等に基づく事務が厚生労働省から内閣府へ移管されたことから、市としての窓口の一本化については検討の余地はある。)							

総合評価		B
見舞金の金額は少額であるが、被害を受けた者の援護と奮起を促し、少しでも早く通常の生活に戻れるために役立っていると考えます。		

平成27年度の方向性・取組目標		Action
方向性	現状継続	
取組目標	国では災害救助法等に基づく事務が厚生労働省から内閣府へ移管されていることから、市の窓口一本化について検討していく必要がある。	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

が事業の目的や有効性指標に留意しな